

評価項目	内容	評価の視点	配点
1. 実施方針			50
(1)実施方針	本業務の目的を理解し、基本仕様書に定めた業務内容を十分に踏まえたものであるか	業務理解度	5
	業務効率化に資するという観点で提案されているか	効率性	5
	個人情報保護、情報資産保護が適正かつ積極的か	情報管理	5
(2)実施内容	基本仕様書で定めた業務内容に対して、実施の方法や手順が具体的に示されているか	手順の具体性	5
	成果品のチェック体制が整備されているか	検証体制	5
	提案された内容は効果的なものであるか	有効性	5
(3)実施計画	作業工程および計画が、実施内容に対して、妥当かつ現実的なものであるか	実効性	5
	進捗管理の体制が整備されているか	進捗管理	5
	適切な時期に納品が可能か	迅速性	5
(4)情報収集力	他の自治体の取扱い等についての情報収集能力を有しているか	情報の有用性	5
2. 実施体制			35
(1)実施体制	実施内容に対して、適切な人員が確保・配置されているか、役割分担が明確かつ適切であるか	体制の適切性	5
	発注者の要望等に迅速かつ柔軟に対応できる体制が備わっているか	対応力	5
	本業務を円滑に遂行するためのバックアップ体制・管理体制を有しているか	管理体制	5
(2)配置技術者	業務担当責任者の非木造家屋評価経験は豊富か	従事者の資質	5
	本業務に有益な資格等を有しているか	適格性	5
	固定資産評価・課税に関する幅広い知見等を有しているか	専門性	5
(3)同種実績	大規模非木造家屋に係る評価・課税技術支援に関する業務の履行実績をどれだけ有しているか	経験の蓄積度	5
3. 設定課題等			65
(1)評価計算	非木造家屋の評価方法を深く理解できているか	評価計算の理解度	5
	取扱協議が必要な事項について、解り易く協議書に纏められているか	重要論点の整理	5
	評価方法が複数ある場合、複数の提案がされているか（明確、不明確）	専門性	5
	発注者の知見向上・効率化にも繋がる評価方法の提案があるか	有効性	5
	本業務を遂行するための能力等を有しているか	資料分析力	5
(2)成果品	評点付設の根拠資料が過不足なく作成されるか	成果品の充足度	5
	計算根拠・プロセス、補正計算根拠、根拠図面等が記載されるか	成果品の再現性	5
	根拠資料はマーキング等で説明しやすく、わかりやすいものか	成果品の説明性	5
	成果品は課税担当者が確認しやすいものとなっているか	成果品の明瞭性	5
(3)独自提案	業務全般について有益な追加提案や提案者独自の強み等があるか	創造性	20
5. 価格提案	最も安価な見積金額を提案したものを満点（50点）とし、それ以外のものは次のとおり計算する 【配点×（最低価格／提案価格）】（小数点以下切捨て） ただし、提案者が1者のみの場合は、配点の6割（30点）とする。	価格の妥当性	50
合 計			200